学　校　教　育　目　標　　たくましく　たのもしい　鴻中生徒

鴻中だより



鴻巣中学校　　令和５年１１月１日発行　　第７号
TEL 048(541)0272　公式ホームページ　https://konosu-j-konosu-edumap.jp

「人」に学ぶ　～鴻巣警察からの一本の電話から～

校　長　服部幸司



10月20日(金)11：00、本校職員室の電話が鳴りました。教頭先生(敢えて敬称を付けます)が受話器を取ると、「鴻巣警察です。先日15日(日)のおおとり祭りのことなのですが…」と切り出され、教頭先生は思わず身構えました。「当日お祭り後、鴻巣中の3年生5名が自主的に旧中山道のゴミ拾いをしてくれまして…、ゴミ拾い中、100円硬貨も拾ったようで、届けていただきました…。報告・お礼が遅くなり申し訳ありません…」という内容の電話だったのです。

本校生徒の善行(ぜんこう)に心の底から嬉しさが滲み(にじみ)出るような教頭先生の表情と声で、祭りの後、当たり前のようにゴミ拾いをしていた3年生の姿を思い浮かべました。

なぜ5名は、そのような行動が実際にできたのでしょうか。「家の人から『ごみは捨てない・またがない』という躾(しつけ)を受けて育ったから」「特別の教科 道徳で公徳心(こうとくしん)について学習したから」「鴻巣市　のすっこ宣言　第四条『学校もまちもきれいにします。』が頭のどこかにあったから」「ワールドカップサッカー、日本サポーターの試合後のゴミ拾いが世界から称賛されていたから」等々が思い浮かびます。

鴻巣警察の方から5名の名前を聞いていたので、5名の中の一人の女子生徒に聞いてみました。校長が尋ねている経緯を伝えると、最初は驚いていましたが、質問(なぜ、そのような行動ができたのか?)には、堂々と「大谷翔平選手です。」と答えます。「大谷翔平選手はグランドに落ちているごみを見つけるとさりげなくポケットに入れますよね。運を掴む(つかむ)方法の1つとして実践しているんですよね。野球部の男子から聞きました。私は、男の子たちがやっていたから一緒にやっただけです。それから5名だけではなく、もっとたくさんの人たちがやっていたと思います…、20：30くらいから30分くらいだけですよ。」と屈託のない笑顔で答えます。微塵(みじん)も「私たちが鴻巣をきれいにしたんだ!」というような様子はありません。実に爽やかなのです。

このような「生徒がのびのびと育つ姿」に接すると、未来への希望が湧きます。大谷翔平選手の立ち居振る舞いに心を動かされた男子が、その感動を女子に伝え、感化された女子が行動に移す…。

本校の目指す学校像は「明るい教育環境で学力向上を目指す学校」ですが、改めて最大の教育環境は「人」であることを再認識させられた出来事でした。



大谷翔平選手高校１年時の目標達成シートの一部